

下水道整備方針（案）について

一関市上下水道部下水道課

一関市では、「一関市汚水処理施設整備計画」の中期計画期間である令和8年度までの下水道整備方針として、整備予定区域14ルートを評価検討し、2ルートを整備する案を作成しました。

1 下水道整備について

私たちの生活は年々便利になってきましたが、台所からの排水や風呂水などを直接川に流すことは、河川の水質を悪くし、知らず知らずのうちに美しい自然を傷つけることとなります。

汚れた水を集めてきれいにし、悪臭をなくしてから川や水路へ流すため、一関市では、「一関市汚水処理計画」に基づき、汚水処理事業を推進しています。

下水道は汚水処理方式の一つで、「一関市汚水処理施設整備計画」に基づき整備を進めているところです。

2 下水道整備方針案作成の背景

下水道事業は、主に下水道使用料で運営しています。そのため、効率的に整備を行い、下水道整備区域にお住まいの方に速やかに接続してもらうことが必要です。

しかしながら、今後整備しようとする区域は、面積が広く、家が点在しているため、住宅密集地より整備費用がかかる見込みです。また、人口減少や高齢化などの社会情勢が影響し、下水道が整備されても、費用の面や後継者がいないといった理由から、下水道の接続が困難であるとの住民意見があります。

今後の整備内容によっては、整備費や維持管理費が上昇し、下水道事業の運営が厳しくなることから、令和2年度から、一関市汚水処理計画推進会議や下水道整備予定区域の皆さんへの意向調査・住民懇談会を開催し、下水道整備についてご意見をいただきながら、整備方針案を検討してきました。

3 下水道整備区域の検討について

整備方針案を作成するにあたり、整備予定区域を次の視点から評価し、下水道整備が適しているかを検討しました。

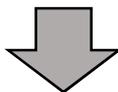
- ① 地域の状況（人口密度、人口・世帯数の推移など）
- ② 経費と使用料の見込（経費回収率）
- ③ 開発計画及び宅地化の見込（住宅等の新築件数の推移）
- ④ 住民ニーズ（意向調査結果） など

※ 評価の詳細及び各ルートの評価結果は、資料1～3です。

4 下水道整備方針案

上記の評価により、下水道整備方針案を次のとおりとしました。

現 行	
《一関地域》	《千厩地域》
・機織山ルート	・前田団地ルート
・沢ルート①（大船渡線北側）	・久保田・北方ルート
・沢ルート②（大船渡線南側）	
・南照井堰ルート	
・赤荻沖線ルート	
・赤荻沖線ルート②（松木・清水）	
・赤荻槻本ルート	
・山根堰ルート	
・中里蘭梅ルート	
・真柴宮沢ルート	
・真柴南中田ルート	
・真柴川戸ルート	



方針案
《一関地域》
・南照井堰ルート
・赤荻沖線ルート

※ 各ルートの位置は、資料4（一関地域）・資料5（千厩地域）です。

5 下水道整備以外の区域への対応

整備方針案で下水道整備区域としなかった区域については、個別の合併処理浄化槽等による汚水処理を進める区域とします。

なお、市では、住宅に浄化槽を設置する際に、費用の一部を補助しているほか、複数世帯が同時に申請することで補助率が上乘せされる「グループ補助」、放流先までの距離が長い場合の「放流管補助」、浄化槽の修繕費用に対する「修繕補助」など、様々な補助メニューを用意しており、これらの制度の周知に努めてまいります。